



(個人の特定ができないように加工させていただきました)

## ひなまつり

3月3日はひなまつりですね。桃のお節句ともいいますが今年の宮城の里は、ひな壇を手作りして飾らせてもらっています。お内裏様やお雛様になった利用者さんの笑顔がとてもステキで笑い声も聞こえてきそうな雰囲気です。当日はひなまつり御膳をいただいたりと華やかな気分を味わえました。



## キャップ入れゲーム

穴のあいたタッパーの中にペットボトルのふたを入れるだけ？の簡単な？ものにも感じますが、これがなかなか入らないのです。数を競うので早さも必要なのですが指先や手のひらで押し込む、それがダメなら叩き込む～！！利用者さんの力強い場面がみられる汗をかくほどのゲームとなりました。







社会福祉法人 育恵会

# 宮城の里デイサービスセンター

前橋市市之関町401(赤城育心こども園隣) ☎ 230-4131

介護で困ったら、ケアマネージャーに相談・・・宮城の里居宅介護支援事業所 ☎ 230-4107

## 子どもたちの交流

一日のなかでのできごと

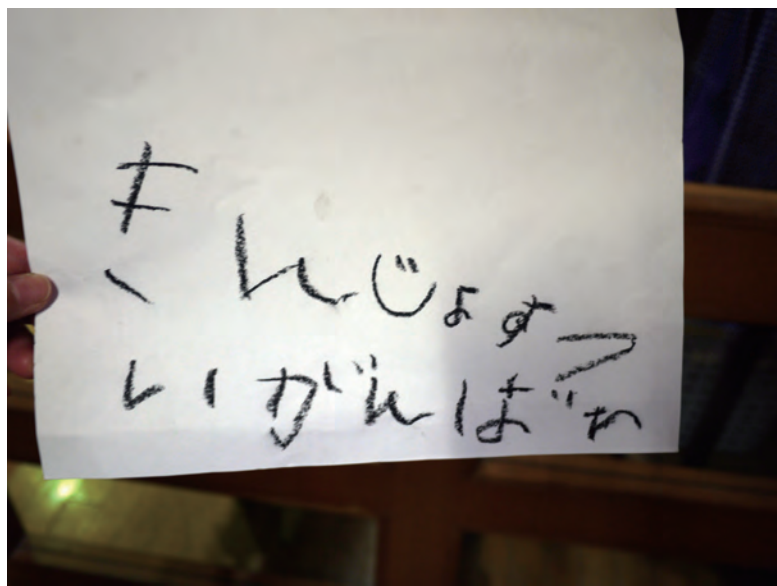
隣接するこども園との交流も、  
コロナ感染症の影響で、  
窓越しの交流が続いています。  
でも、  
お互いを意識合いながら、  
お互いに見守っています。



午前中にソーラン踊りを窓越しに見つめるご利用者さん。「元気だねえ」「子どもたちはいいねえ」とほほえみを浮かべての見学でした。



午後のデイサービスでのレクリエーションを、「おじいちゃん、おばあちゃん、がんばれ! がんばれ!」と離れたところからですが子どもたちが応援しながら観戦していました。



しばらくして、「きんぎょすくい、がんばれ」と子どもたちからのお手紙が届きました。離れていても、お互いの存在は大きいようです。子どもたちとご利用されている方が手を握って楽しめる日が早く来ることを願うばかりです。

がんばらないで・・・  
ちよっと、遠くをみる時間も必要

毎日  
同じ言葉の繰り返し

その都度  
怒らないように  
その話を受け止める  
認知症介護にとって大切なことです

おむつが汚れていないか  
几帳面に確認する  
気持ちがいよいことは  
お互いに嬉しいことです

されど、家族にとって  
毎日、毎時間、受け止めることは  
大変なストレスになります

自分一人でなんとかしよう  
他人に迷惑をかけないようにしよう  
まじめな介護者さんほどそう考えてしまいがちです

自宅で介護を続けていくためには  
がんばらないことが  
継続の近道です

そのために  
介護のサービスを利用することを考えるのもよいでしょう  
訪問介護・デイサービス・訪問入浴・ショートステイなど  
いろいろなサービス種類を組み合わせて利用することで  
自宅での介護を支えています。

介護から始まる人生は  
お互いに大事な貴重な時間になります

真剣に向き合うために  
ふっと  
遠くをみることができる時間が  
お互いをおもいやるために必要なのです